

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

|                                | 項目数       |
|--------------------------------|-----------|
| I. 理念に基づく運営                    | 11        |
| 1. 理念の共有                       | 2         |
| 2. 地域との支えあい                    | 1         |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用          | 3         |
| 4. 理念を実践するための体制                | 3         |
| 5. 人材の育成と支援                    | 2         |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援          | 2         |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応      | 1         |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援      | 1         |
| III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント  | 6         |
| 1. 一人ひとりの把握                    | 1         |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 2         |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援              | 1         |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働    | 2         |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援      | 11        |
| 1. その人らしい暮らしの支援                | 9         |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり        | 2         |
| <b>合計</b>                      | <b>30</b> |

|       |                   |
|-------|-------------------|
| 事業所番号 | 3972600245        |
| 法人名   | 社会福祉法人黒潮福祉会       |
| 事業所名  | グループホーム優夏         |
| 訪問調査日 | 平成19年7月17日        |
| 評価確定日 | 平成19年10月17日       |
| 評価機関名 | 社会福祉法人 高知県社会福祉協議会 |

### ○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

### ○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

### ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年8月1日

## 【評価実施概要】

|               |             |                  |  |
|---------------|-------------|------------------|--|
| 事業所番号         | 3972600245  |                  |  |
| 法人名           | 社会福祉法人黒潮福祉会 |                  |  |
| 事業所名          | グループホーム優夏   |                  |  |
| 所在地<br>(電話番号) | 黒潮町入野3512-2 | (電話)0880-31-3307 |  |

|       |                          |       |            |
|-------|--------------------------|-------|------------|
| 評価機関名 | 社会福祉法人 高知県社会福祉協議会        |       |            |
| 所在地   | 高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内 |       |            |
| 訪問調査日 | H19年7月17日                | 評価確定日 | H19年10月17日 |

## 【情報提供票より】( 年 月 日事業所記入)

### (1)組織概要

|       |                 |        |                    |
|-------|-----------------|--------|--------------------|
| 開設年月日 | 平成 16 年 8 月 1 日 |        |                    |
| ユニット数 | 1 ユニット          | 利用定員数計 | 9 人                |
| 職員数   | 7人              | 常勤     | 7 人, 非常勤 人, 常勤換算 人 |

### (2)建物概要

|      |                        |       |
|------|------------------------|-------|
| 建物形態 | 併設/ <del>単独</del>      | 新築/改築 |
| 建物構造 | ○平屋 造り<br>階建ての 階 ~ 階部分 |       |

### (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                     |             |                |          |       |
|---------------------|-------------|----------------|----------|-------|
| 家賃(平均月額)            | 20,000 円    | その他の経費(月額)     | 19,000 円 |       |
| 敷 金                 | 有( 円)       | ○ 無            |          |       |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | 有( 円)<br>○無 | 有りの場合<br>償却の有無 | 有/無      |       |
| 食材料費                | 朝食          | 200 円          | 昼食       | 400 円 |
|                     | 夕食          | 400 円          | おやつ      | 円     |
|                     | または1日当たり 円  |                |          |       |

### (4)利用者の概要( 月 日現在)

|       |     |        |     |      |     |      |
|-------|-----|--------|-----|------|-----|------|
| 利用者人数 | 9 名 | 男性     | 0 名 | 女性   | 9 名 |      |
| 要介護1  | 名   | 要介護2   | 5 名 |      |     |      |
| 要介護3  | 4 名 | 要介護4   | 名   |      |     |      |
| 要介護5  | 名   | 要支援2   | 名   |      |     |      |
| 年齢    | 平均  | 85.4 歳 | 最低  | 81 歳 | 最高  | 92 歳 |

### (5)協力医療機関

|         |           |   |
|---------|-----------|---|
| 協力医療機関名 | 竹本病院・和泉歯科 | 2 |
|---------|-----------|---|

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

新築の平屋建てで、とても家庭的な感じを受ける建物である。自然の日差しや風をうまく取り入れ、人が立ち寄りやすい温かくゆったりできる環境づくりをされている。すぐ前が国道で、散歩の時は注意が必要だが、住民の方々にも見守られる体制ができており、地域との繋がりを大切にし地域密着型の施設として取り組んでいる。又、書類の整理も工夫され、管理すべき事や取り組むべき事も十分に理解されている。

## 【重点項目への取り組み状況】

|      |   |   |
|------|---|---|
| 重点項目 | ① | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)<br>前回評価での主な改善課題はその後速やかに取り組み、改善している。  |
|      | ② | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)<br>評価表を職員全員に配布し、自己評価に取り組んでいる。今回、明らかになった課題に関し、今後の改善を期待する。  |
| 重点項目 | ③ | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)<br>地域や市町村・行政とも密接に結びつき、地域での認知症の家族の相談室としての役割も果たされている。外部評価のみでなく、自己評価においても事業所の実情を明らかにし、ケアサービスの向上を目指していくことが求められる。 |
| 重点項目 | ④ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)<br>全員参加できないということで、家族会も中断されている。少人数でも開催され、意見が出せる工夫が必要である。金銭に関しては、コピーでの報告のみで、承認のサインや印がない。工夫が求められる。                   |
| 重点項目 | ⑤ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)<br>地域住民としての意識も高く、地域での認知症に取り組む姿勢が窺われる。職員だけではなく利用者も防災訓練に参加している。自治会にも加入し、回覧板の配布など地域住民としての役割も果たしている。                               |





| 外部                        | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)  |
|---------------------------|----|---|--|------|---|
| 9                         | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮<br><br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている  | <input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。<br>〔事業所の方針として、利用者への影響が想定される異動は行わない。〕<br><br><input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。<br>〔退職に際しては、引継ぎ期間を2週間取っている。〕  |      |   |
| 5. 人材の育成と支援               |    |   |  |      |   |
| 10                        | 19 | ○職員を育てる取り組み<br><br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている               | <input type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。<br>〔職員の研修会参加は年1回程度。研修計画は立てていない。〕<br><br><input type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。<br>〔研修の内容についての伝達報告はあまり行なわれていない。職員間でケアプランの共通理解ができていない。〕  | ○    | グループホームの特徴である認知症介護についてや緊急時の対応、ケアプラン等、入職時の研修が必要である。施設内研修を計画的に行なうことを期待する。 |
| 11                        | 20 | ○同業者との交流を通じた向上<br><br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている     | <input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。<br>〔高知県宅老所グループホーム連絡会に加入し、地域の同業者も交流してる。〕<br><br><input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。<br>〔地域の同業者との交流が良く行われ、協力体制が出来ており、季節の行事等も合同で行われている。利用者・職員を含めサービスの質向上に努めている。〕                                   |      |   |
| II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援      |    |   |  |      |   |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 |    |   |  |      |   |
| 12                        | 26 | ○馴染みながらのサービス利用<br><br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めよう家族等と相談しながら工夫している | <input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めている。<br>〔家族や本人に対して気を配った生活歴等の聴取をされている。〕<br><br><input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。<br>〔家族や利用者自身の施設見学・体験を通して満足感を得られている。〕<br><br><input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。<br>〔自宅への訪問や施設見学で、面接が行われている。〕 |      |   |

| 外部                             | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容 ・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容 )   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------|----|--|--|------|----------------------------------|
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援      |    |  |  |      |                                  |
| 13                             | 27 | 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                    | <input checked="" type="checkbox"/> 日々の生活場面の中で、利用者を支援されるのみの立場にはおいていない。<br>[日課を忘れる利用者も多いが、職員がその都度説明し、利用者自身が自分ができることとして満足感が得られるような声かけを行っている。満足されれば、生活の中で先輩として教えられることも多いと職員から聞かれ、共同生活が自然に行われている。]<br><input checked="" type="checkbox"/> 支援する側、される側という意識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。<br>[ ]<br><input checked="" type="checkbox"/> 利用者から生活の技や生活文化の大事さを教えてもらう場面がある。<br>[ ] |      |                                  |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント    |    |  |  |      |                                  |
| 1. 一人ひとりの把握                    |    |  |  |      |                                  |
| 14                             | 33 | 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                                  | <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。<br>[散歩のときなどを捉え、利用者の思いを聞いている。]<br><input checked="" type="checkbox"/> 意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。<br>[ ]   |      |                                  |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し |    |  |  |      |                                  |
| 15                             | 36 | 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している        | <input checked="" type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。<br>[家族からの意向は少ないが、利用者の意向や思いを反映したプランを家族に伝え、ケアプランに活かしている。]<br><input checked="" type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。<br>[アセスメントツールはないが、職員全員でモニタリング・カンファレンスを行い、評価も毎月行っている。]   |      |                                  |
| 16                             | 37 | 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | <input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。<br>[毎月のカンファレンス・評価を職員全員で行い、モニタリングが出来ている。]<br><input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直しされている<br>[本人・家族の要望は少ないが、状態に変化があれば見直しを行っている。]<br><input checked="" type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人の状態や計画内容に応じた個別の期間設定をしている。<br>[状態の変化に応じて、プランの変更を行っている。]                                       |      |                                  |

| 外部                                     | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容 ・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容 )  | (○<br>印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)          |
|--|----|---|---|----------|---|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用) |    |   |   |          |   |
| 17                                     | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援<br><br>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている                             | <input checked="" type="checkbox"/> 医療処置を受けながらの生活が継続できるように努めている。<br>[インシュリン注射を要する場合は、家族の同意を得て病院での研修を受け、施設で処置するなど生活が継続できるように努めている。]<br><br><input type="checkbox"/> 重度化した場合や終末期も事業所でケアを提供している。<br>[ ]<br><br><input checked="" type="checkbox"/> 特別な外出、通院や送迎、外泊などの支援を行っている。<br>[面会に来られた家族に対しても交通事情により送迎を行っている。]              | ○        | 重度化した場合や終末期のケアについても、研修を含めた準備を整えることが求められる。 |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働            |    |   |   |          |   |
| 18                                     | 43 | ○かかりつけ医の受診支援<br><br>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している              | <input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人、家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。<br>[定期的な通院や緊急時の受診支援を行っている。]<br><br><input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。<br>[連携病院の受診等について、承諾を得ている。]<br><br><input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。<br>[病院と事業所の情報の共有は出来ている。急変時、家族への連絡は行っている。] |          |   |
| 19                                     | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br><br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | <input checked="" type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っていき、看取りの指針を作成し、入所時に説明している。<br><br><input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期を迎えられるように取り組んでいる。<br>[施設での終末を望んでいる利用者はいないが、病院との連携は行っている。]  |          |   |







| 外部                         | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                |
|----------------------------|----|---|--|------|---|
| 27                         | 71 | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている                                | <input checked="" type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的実施している。<br>〔事業所だけの訓練は勿論、地域での災害訓練に利用者自身も参加している。〕<br><input type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常食・備品を準備している。<br>〔 〕   | ○    | 災害時に機敏に行動できるよう、災害対策のマニュアルを整理し、又、非常食や水等の準備を期待する。 |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |    |   |  |      |   |
| 28                         | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。<br>〔 〕<br><input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。<br>〔利用者になが食べたいか確認し、メニュー以外にも補足している。〕<br><input checked="" type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。<br>〔食事メニューは、管理栄養士にチェックしてもらっているが、記録としてそのことを確認できる仕組みが必要である。〕              |      |   |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり    |    |   |  |      |   |
| (1) 居心地のよい環境づくり            |    |   |  |      |   |
| 29                         | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | <input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。<br>〔利用者が自分で管理できる高さの神棚や、季節感あるお供え物がみられた。〕<br><input checked="" type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない<br>〔熱帯魚を飼うなど、自然的な環境にも配慮されている。〕<br><input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。<br>〔外が暑い日であったが、自然な風を入れ心地よい温度感覚であった。〕 |      |   |
| 30                         | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                   | <input checked="" type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫されている。<br>〔利用者自身が使いづらくても、気に入っていることを重視し、馴染みのたんすや飾り物が置かれている。〕<br><input checked="" type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組まれている。<br>〔ご本人の意向を大切にしている。〕  |      |   |